

## 空きビルにミュージアム群を開設しての神戸市の元町通西部エリアの観光地化

ジャパンメモリー(株)  
代表取締役 安井裕二郎

### 1.活動方針・目的

神戸市中央区元町通の「歴史」を活用し、観光客などを呼び込み、賑わいを取り戻す。

### 2.活動内容

街の歴史をビジュアルな形で再現することで、あらたな視点を掘り起こし、当地にゆかりのある企業ミュージアム・歴史博物館などを誘致して、商店街を重畳的な空間として活性化させる。

### 3.今後の課題など

中心市街という交通至便さを活かすべく、街の活性化の阻害要因となっている建物などに、企業ミュージアム・博物館などを誘致するには、参加企業などの物心両面の参加協力が不可欠。

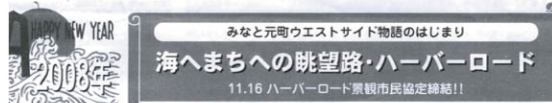
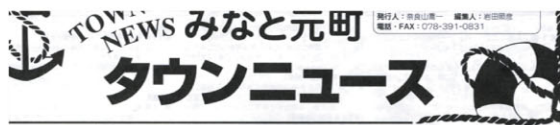
第3回関西元気な地域づくり発表会

## 空きビルにミュージアム群を開設しての 神戸市の元町西部エリアの観光地化

発表者：ジャパンメモリー（株）  
安井 裕二郎

### 神戸・ミュージアム オフ ミュージアム (MOM)開設の提言活動

震災により廃業・売却中の旧ホテルシェレナのエントランス棟に30を超す  
ミュージアム群を開設して、「観光神戸」の新名所に！



#### 新しい景観づくりの仲間入り

なと元町タウンの西端「ハーバーロード」で、昨年11月16日景観市民協定が締結されました。地区内では、南長町から数4番目、みなと神戸中心の美しい街なくりの一翼を担います。新しい年の初、希望の星の輝きを期待します。

#### とまちハーバー懇話会の発足

神戸の中心が変遷する時代の流れ、平成のハーバーランド「街ひろき」を契機に、忘れがけていた元町のウエストサイドに新たな光りが見え始めました。フ

#### ホテルシェレナ跡が歴史的課題

旧西園街を継承した元町商店街の発展に、ホテルシェレナ歴史的(空ビル)が立ちだかかっていました。かつては、元町の賑わいを代表する三層百貨店があった場所。実は、元町商店街有志の発案で大正14年「元町デパート」として出発、翌年三層が引き継いだものです。昭和45年三層閉鎖後、「ホテルシェレナ」が建替えてオープンしましたが、震災前より長らく閉鎖、周辺地域にとっても歴史的課題となっていました。元町デパート三層跡を歴史的上の「記録保存」で残らせてはならないと。



ホテルシェレナ跡に高層的な協働建築



元町通商店街の西の入口と  
旧ホテルシェレナのエントランス棟

2008年1月発行の地元タウンニュース

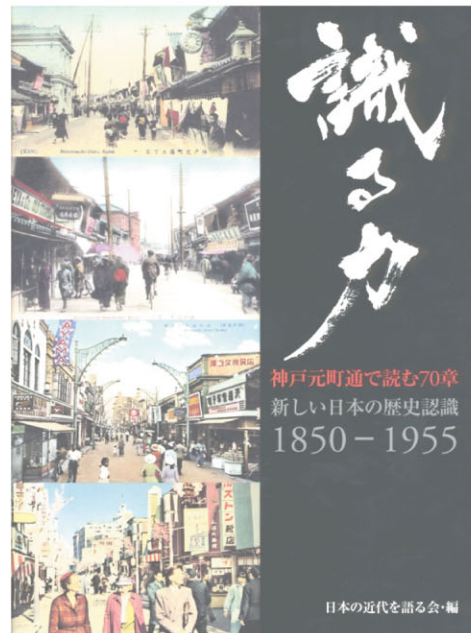


**HOP ! 元町通 130 周年記念 懐古写真集「道」の総合監修**  
**STEP ! 「識るカ- 神戸元町通で読む70章 日本の新しい歴史認識(1850-1955)」の出版**  
**JUMP ! 神戸・ミュージアム オブ ミュージアム(MOM)の開設**

2006年8月発刊



2008年3月号 もとまち新聞



2008年1月 発刊

## 神戸市の元町通の西部エリア(4丁目-6丁目) の発展と衰退の理由

### 《発展理由—戦前》

- ◎神戸港の発展～元町通全体の活況
- ◎外国人居留地への西からのメインストリート  
～居留地に近い1-3丁目に外国人向けの店舗
- ◎神戸駅界隈に神戸市役所～駅により近い元町通の西部  
エリアが活況
- ◎湊川神社の存在～観光名所の神社に近い側に著名呉服  
店が立ち並ぶ



150年前 (幕末)の神戸

### 《衰退理由—戦後》

- 神戸市役所の三宮エリア(東部)への移転
- 湊川神社が観光名所でなくなった
- 神戸港の変貌～コンテナ船が増加し、街に  
おける港の存在の低下(来神者の急減)
- 震災の影響とその後の街の変容。  
「商売の街」から「マンション街」へ



神戸港開港時の元町通

## 神戸・ミュージアム・オブ・ミュージアム(MOM) 計画の提言

- ◎事業計画の目的:元町の西部エリア・ハーバーランド地区を分断している建物を地域発展の起爆剤として有効活用し、歴史・文化を紹介して「観光地・神戸」を内外に発信する(全国の苦境に立つミュージアム等の移設、各自治体の観光PR館なども誘致する)
- ◎候補地:元町通商店街の西端の旧ホテルシレナのエンタランス棟
- ◎建物の特徴など:地上12階地下1階、地上の壁面に「開港当時西の関門跡」の石碑
- ◎中核となるコレクション群:全国の戦前の絵葉書・写真・ポスターなどのビジュアル資料の研究団体(日本絵葉書会)に画像資料の提供などを呼びかけ、「目に見える」「楽しめる」本来のミュージアム活動を展開する
- ◎人的支援:ボランティアの参加者を広く募集するなど、人件費の節減に努め、専従学芸員を置かない
- ◎資金計画:「市民サポーター株主」などの募集を商店街の店頭・HP・広報紙なども活用して行い、さらに積極的の主体となる協賛企業の株主(出資者)への参加を募り、行政(国・県・市)に対しても、本事業計画の地域コミュニティに及ぼす効果をアピールし、「神戸モデル」として成功に導く
- ◎企画・ジャパンメモリー(株) 事務局:調整中

## 開設するミュージアム群（案）～ 順不同、仮称

- 1 **元町通歴史ミュージアム** 旧・西国街道筋、明治7年に元町通と命名
- 2 **新聞ミュージアム** 候補地にて明治31年に**神戸新聞**が創業、近隣に朝日新聞・毎日新聞・読売新聞などの支局が開局
- 3 **音楽ミュージアム** 日本楽器店—**ヤマハ**、心齋橋の**三木楽器**などが店舗、元町ミュージックウィークを開催実績、蓄音機店など
- 4 **「医と薬」のミュージアム** 製薬卸国内最大手・**クラヤ三星堂**は候補地近隣に「熊田三星堂薬舗」として明治31年創業、神戸の医業・製薬業の中心であった
- 5 **神戸港と船のミュージアム** 神戸の地は港町として発展、**海文堂書店**、**明治屋**、**丸善**などゆかりが深い
- 6 **洋菓子ミュージアム** 神戸初の洋菓子店が創業、**神戸風月堂**（明治30年創業）、**ユーハイム**、**ヒロタ**など
- 7 **和菓子ミュージアム** 元町通にて明治6年に**亀井堂総本店**、明治10年に**本高砂屋**などが創業
- 8 **学校教育ミュージアム** **こうべ小学校**、**神戸大学**発達科学部、**親和学園**の前身・**県立商業高校**・**神港学園**・**市立神港高校**などの創立地
- 9 **三菱グループのミュージアム** 候補地前に**三菱銀行**神戸支店の記念碑的な建築物
- 10 **鈴木商店記念館** 候補地の前に鈴木商店の本社があった、**双日**の前身、**神戸製鋼**など
- 11 **キリスト教ミュージアム** 元町5丁目が神戸・西日本地区のキリスト教の発祥地
- 12 **金融ミュージアム** 神戸為替会社、石野貞雄商店—**さくらフレンド証券**、**みなと銀行**などが創業、近隣の栄町通は神戸の金融業の中心
- 13 **郵便・通信ミュージアム** 界限が神戸の郵便局の発祥地、神戸中央郵便局が近い、神戸元町出身の市田左右一は初期切手の分類など、郵趣史に名を残す。**ゆうちょ銀行**・**郵便局会社**・**NTT西日本**
- 14 **写真ミュージアム** 神戸の写真館創業地、市田写真館・平村写真館などが創業、明治35年に「神戸写友会」、昭和期に元町界限を中山岩太が撮影
- 15 **スポーツミュージアム** 神戸は日本のスポーツ先端地、戦前には**ミズノ**運道具店があった、戦災移転した善照寺の住職の兄弟が大学野球部に入り、早慶戦など野球とゆかり

- 16 **鉄道ミュージアム** JR西日本の神戸駅・元町駅は明治7年開設、交通の要衝地、路面電車
- 17 **フライダル・ミュージアム** 弥生美容院・神戸山手大学など
- 18 **元町通ゆかりの美術館** 金山平三の生誕地、川西英、村上華岳・「神戸画廊」で小磯良平・東山魁夷・今竹七郎などが活躍
- 19 **居留地ミュージアム** 元町通は外国人居留地へのメインストリートとして発展
- 20 **マッチミュージアム** 神戸はマッチ産業の中心、播磨幸七商店、海岸通・栄町通の華僑商が輸出
- 21 **映画ミュージアム** 戦前は「元町映画館」戦後は「元映」があり、また、元町は淀川長治ゆかりの地
- 22 **着物ミュージアム** 大丸呉服店・そごう呉服店など多くの呉服商が軒を並べ、現在も呉服店が多い、候補地建物は三越跡地
- 23 **戦時ミュージアム** 神戸大空襲の記録を保存、多くの戦時関連写真がある
- 24 **警察ミュージアム** 近隣に相生橋警察署、元町通に屯所があった、水上警察

- 25 **六甲山・宝塚ミュージアム** 元町通は阪神電車・阪急電車・宝塚とゆかりが深い)
- 26 **昭和レトロ・ミュージアム** 昭和26年にノーリツの前身が創業。昭和のくらし、路面電車など昭和レトロ文化を紹介)
- 27 **本と印刷ミュージアム** 市田幸四郎—オフセット印刷、市田写真館出入りの光村利藻—原色版印刷。海文堂書店、ジュンク堂書店の創業
- 28 **海外移住ミュージアム** 戦前の候補地界限には海外移民宿が多くあった、神戸は中国東北部(満洲)移民の拠点、コーヒー文化の中心
- 29 **絵葉書ミュージアム** 元町3丁目に有名な「栄屋商店」があった
- 30 **広告ミュージアム** 派手な看板広告の店が多く、戦前戦後の新聞各紙に商店広告が多く残っている
- 31 **陳舜臣ミュージアム** 元町通7丁目で出生、昨年に展覧会開催
- 32 **アール・テコミュージアム** 戦前の街路灯「スズラン灯」は全国に波及
- 33 **「食」のミュージアム** ミュージアム内に飲食店の出店を誘致
- 34 **ウルトラマン・ミュージアム** 本年3月に閉鎖、お蔵入り。  
話題性があり、集客力がある